

陶磁器に出会うⅣ

中国の 小さな やきもの

しょうちゅう
—美は掌中に在り—

Tiny Chinese Ceramics
—Treasures on a Palm



平成22年

6月5日(土) → 7月25日(日)

主催：細見美術館 毎日新聞社

休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は5時30分まで)

入館料：一般1000円(800円) 学生800円(600円)

※()内は20名以上の団体料金

会場：細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町 6-3

075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

ご優待

一般/1,000円→800円 学生/800円→600円
本紙にて4名様まで200円引。

HOSOMI MUSEUM
<http://www.emuseum.or.jp>

中国の 小さな やきもの

—美は掌中に在り—

平成22年

6月5日(土)

— 7月25日(日) —

小さいはスゴイ？

サイズが小さくても、そこに施された装飾や技法は実用品と同じように、丁寧に作られています。さらに細部を見ていくと…精密な美の世界を生み出すことにこだわった陶工の息吹が感じられます。



青磁刻花花文壺
10～11世紀



灰陶三耳壺
前4500～前3000



白釉緑彩四耳壺
7～8世紀

三彩四耳壺
7～8世紀

制作時期は？

今回登場の作品の制作期は、古くは新石器時代から清時代末期までの約6000年間に及びます。中国の悠久の歴史の中で、様々な地域で作られた小さなやきものを一堂にご覧下さい。

会期中のイベント

※イベントはすべて事前申込み制。
詳細についてはホームページにて公開。

- 気軽にお茶会体験
「七夕のミニ茶会」7月3日(土)、4日(日)
- お花入門
「グリーンアレンジメント」7月16日(金)、17日(土)

次回展予告

細見美術館アートキャンパス2010

平成22年 7.31(土)ー9.26(日)

副葬品って？

死後の世界を信じていた古代中国の人々。巨大な墓を築いた王や貴族らは、来世で使う食器や侍女を象ったミニチュアの陶磁器と共に埋葬されました。これらのうち器物を明器、人や動物の像を俑、総称して副葬品といいます。

〈表面〉



1. 白地鉄絵草文瓶 11～12世紀
2. 赤絵人形 13世紀
3. 三彩有蓋壺 7～8世紀
4. 白地鉄絵犬 13～14世紀
5. 青磁羊 10～11世紀
6. 紫砂茶壺 19世紀



白地鉄絵人形燭台
14～15世紀



- 市バス「東山二条」下車 徒歩3分
 - 市バス「京都会館美術館前」下車 徒歩5分
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

細見美術館

<http://www.emuseum.or.jp>